

親子聖書日課

[日]女性が主に高価な香油(3百万円分)を捧げたように、主への愛はいかなる宝も惜しまない愛です。それは主が私達の罪を贖うために、命を捨てて下さったからです。「そんなに献げて、もったいない」と思う人は、十字架を見上げましょう。

[月]自分のことは自分が一番知っていると思ったら大間違いです。主の方がよく知っています。試練に遭うと、威勢のいいことを言っても逃げ出すのです。弱き自分であることを知って、知識や経験に頼らず、わが牧者、主により頼みましょう。

[火]自分の願いが叶えられることが、祈りの目的ではありません。主も十字架を目前にして、「私の願い通りではなく、御心のままに」と祈られました。どんなに苦しくても、神の御心なることを信じて祈り求めるなら、神の栄光が現されます。

[水]主を畏れる者は人を恐れませんが、人を恐れる者は主を拒み、主から離れます。ペトロは後者で、主が罪人のために苦難を受けている時に、彼は人を恐れて3度も主を拒みました。絶えず十字架の主を見上げて、忠実な僕になりましょう。

[木]信仰者は罪を後悔する人でなく、悔い改める人です。ユダは主を裏切ったことを後悔し、金も返しましたが、自殺したのです。後悔しても罪の赦しは得られません。主の心から悔い改める時、十字架の赦しを体験でき、平安が得られます。

[金]「神の子なら、自分を救ってみろ」と罵るのは、当時の人々だけではありません。今日の人々も主の無力さに救いを見い出すことができず、結果的に主を罵って生きています。神の子であるが故に、私達を救うために尊い命を献げられました。

[土]主が息を引き取られた時、神殿の垂幕が二つに裂けました。それは至聖所と聖所を隔てる覆いが取り除かれたことを意味します。主の死によって救いの道が開かれ、神の所へ自由に行くことができます。はばかりことなく、神に近づこう！



NO.1471 2016.12/4-10

名前

	聖書	問題	答え
日	マタイ 26:1-16	一人の女はイエスの頭に何を注ぎかけましたか。	
月	26:17-35	人の子をどうする者は不幸ですか。	
火	26:36-56	しかし、私の願いどおりではなく、何のままにと祈ることが大切ですか。	
水	26:57-75	ペトロは鶏が鳴く前に何度主を知らないと言いましたか。	
木	27:1-14	イエスを裏切ったユダは、最後はどうなりましたか。	
金	27:15-31	誰にイエスの十字架を無理に担がせましたか	
土	27:32-56	イエスが息を引き取られた時、何が真二つに裂けましたか。	
感想と祈りの課題			

